

別記  
第1号様式（第14条関係）

### 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	令和5年 7月 12日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪府豊中市千成町3丁目5番3号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 松尾電機株式会社 代表取締役社長 常俊 清治

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO 14001:2015 / JIS Q 14001:2015
適 用 範 囲	松尾電機株式会社（6㍻㍻）
導 入 年 月 日	2000年 9月 25日
認 証 番 号	JQA-EM6829
基 本 方 針	1. 事業活動の全ての面で環境に与える影響に配慮し、健全な地球環境及び地域環境の保全に努める。 2. 環境管理活動を組織活動の枠組みに入れ、長期的な維持・発展に努める。 3. 環境目的・目標は、社会の要求に対する確である。 4. 環境改善プロセス及び成果は、戦略的である。 5. 製品の開発、製造、販売、物流の全過程において環境に与える影響の低減に努める。 6. コンプライアンスは、徹底実現とする。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①総排出物量を2023年度までに2010年度比23%削減する。 ②廃棄物削減によるゼロエミッションを維持する。 リサイクル率目標98%以上 ③原油換算エネルギーの総消費量を2023年度までに2010年度比29%削減する。 ④エネルギー原単位を5年平均で2017年度実績比1%以上改善する。
目標を達成するための取組の内容	①排出物量削減・・・排出物の減容化、有価物化を推進する。 ②ゼロエミッション・・・複数のリサイクル業者・処理ルートを確認する。 ③エネルギー消費量削減・・・省エネ活動及び省エネ機器の導入を推進する。 ④エネルギー原単位改善・・・上記③と同じ
目標を達成するための取組の進捗状況	①排出物量削減・・・排出物の有価物化を随時実施中。 ②ゼロエミッション・・・複数のリサイクル業者、処理ルート順次整備中。 ③エネルギー消費量削減・・・生産量に応じた稼働日の短縮。 ヒーターの断熱。LED照明の展開。 ④エネルギー原単位改善・・・省エネ施策の実行。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	2022年度実績 ①排出物量削減・・・排出物量（2010年度比） 目標 △20.1% 実績 △30.3% 目標達成 ②ゼロエミッション・・・リサイクル率 目標 98.0%以上 実績 98.5% 目標達成 ③エネルギー消費量削減・・・原油換算エネルギー総消費量（2010年度比） 目標 △36.8% 実績 △40.5% 目標達成 ④エネルギー原単位改善・・・生産高基準原単位（2017年度比） 目標 △8.0%以上 実績 △17.2% 目標達成
事業活動に係る法令の遵守の状況	・排水、排ガス、騒音等の法定及び自主規制値に対する順守状況を法定頻度に加え社内で定めた所定の頻度で社内測定・分析を行い確認している。 ・各種申請・届出に関しては社内手続きを経て随時実行している。 ・順守評価にて年1回順守状況を確認している。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境目的・目標は、環境方針に基づき中期経営計画で3年程度の中期的に達成すべき内容を示し、年度経営計画にその年度に達成すべき目標を示している。 環境目標の評価及び見直しの必要性は原則として年1回検討している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。